

日本航空株式会社  
2025年3月期 第3四半期  
決算説明会



**JAPAN AIRLINES**



2025年2月4日  
代表取締役副社長執行役員グループCFO 齋藤祐二  
執行役員 弓崎雅夫

©Japan Airlines, ALL rights reserved.



APEX WORLD CLASS  
by IATA  
2025  
APEX  
WORLD CLASS



Best Wi-Fi in Eastern  
Asia 2025 APEX"



SKYTRAX  
2024年度  
World's Best  
Premium Economy Class



SKYTRAX  
World Airline Star  
Rating  
5-Star



2024年度(第42回) IT賞  
(オープンイノベーション領域)



SX銘柄2024



DX銘柄2024  
Digital Transformation

1. 2025年3月期 第3四半期 業績概要
2. 2025年3月期 第3四半期 業績詳細
3. 参考資料



2024  
健康経営銘柄  
Health and Productivity



SPORTS  
YELL  
COMPANY  
2024



2024  
健康経営優良法人  
Health and productivity  
ホワイト500

ESG社外評価



FTSE Blossom  
Japan Index ※



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index



Dow Jones Sustainability  
Asia Pacific Index 3年連続選定

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 ※  
女性活躍指数 (WIN)



気候変動「A-」評価  
(2023年度)



当社によるMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名称の使用は、MSCI又はその関係会社による当社の後援、宣伝、販売促進を目的としていません。MSCIのサービスおよびデータはMSCIの独占的財産で、MSCI及びMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCI又はその関係会社の商標又はサービスマークです。

注.(1) 当資料における表中の値は、金額は億円未満を切り捨て、比率は小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(2) Q3(10月-12月)の実績はQ3累計実績(4月-12月)からQ2累計実績(4月-9月)を差し引いて算出しております。

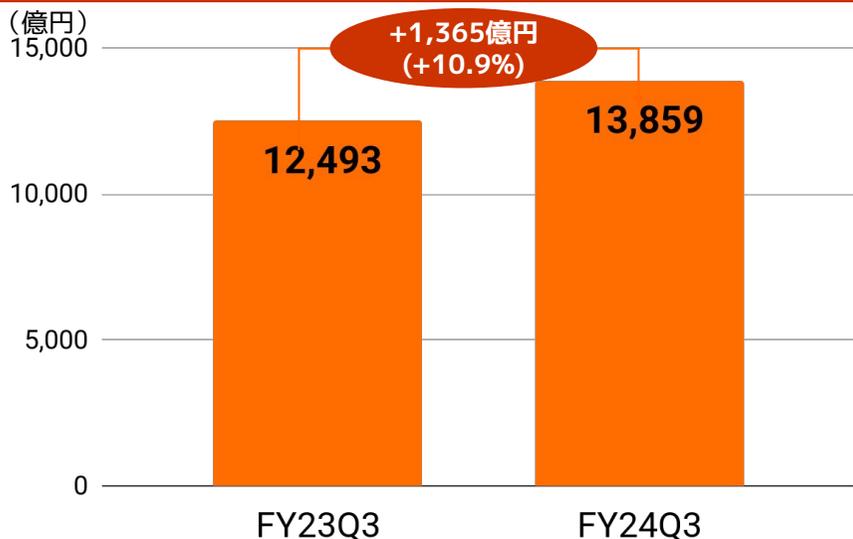
(3) LCC=Low Cost Carrier (4) ※= 役員報酬算定にESG銘柄選定評価を導入しており、対象とする銘柄のうち当社が選定されているもの

# 2025年3月期 第3四半期 連結業績概要

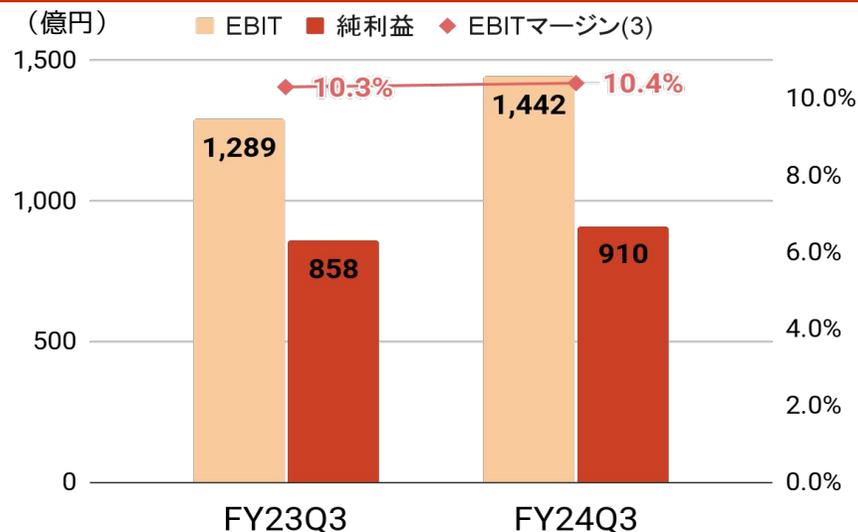


- ✓ 好調な国際旅客需要の確保、需要喚起施策による国内旅客取り込み、事業構造改革の進展により、対前年で増収増益、EBITは計画を達成
- ✓ 通期の連結業績予想および配当金予想額に変更無し

## 売上収益



## EBIT<sup>(1)</sup>/純利益<sup>(2)</sup>



## 燃油・為替市況実績

	FY23Q3	FY24Q3	前年同期比
シンガポール・ケロシン (USD/bbl)	103.6	94.4	▲8.9%
ドバイ原油 (USD/bbl)	82.8	80.3	▲3.0%
為替 (円/USD)	142.2	152.6	+7.3%

## 運航諸元/ASK

	FY24Q3 (前年同期比)		
	国際線	国内線	合計
フルサービスキャリア	+5.3%	▲0.3%	+2.9%
LCC	+27.0%	▲31.7%	+23.3%
合計	+8.5%	▲0.8%	+4.9%

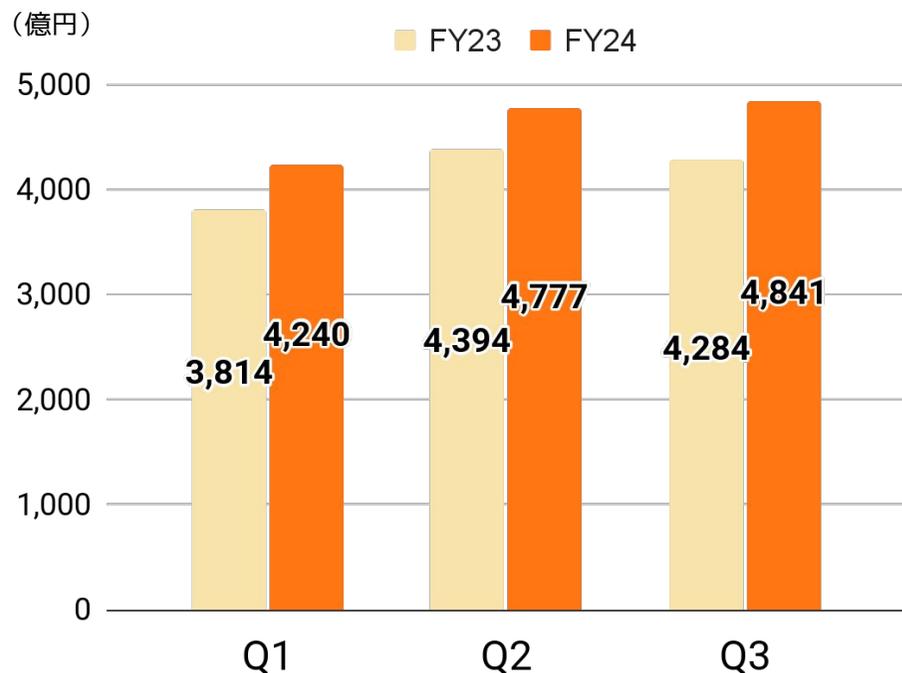
(1) EBIT=財務・法人所得税前利益 (税引前利益から利息等の財務収支を除いたもの) (2) 純利益=親会社の所有者に帰属する四半期利益 (3) EBITマージン=EBIT/売上収益

# 各四半期の連結売上収益・EBIT推移

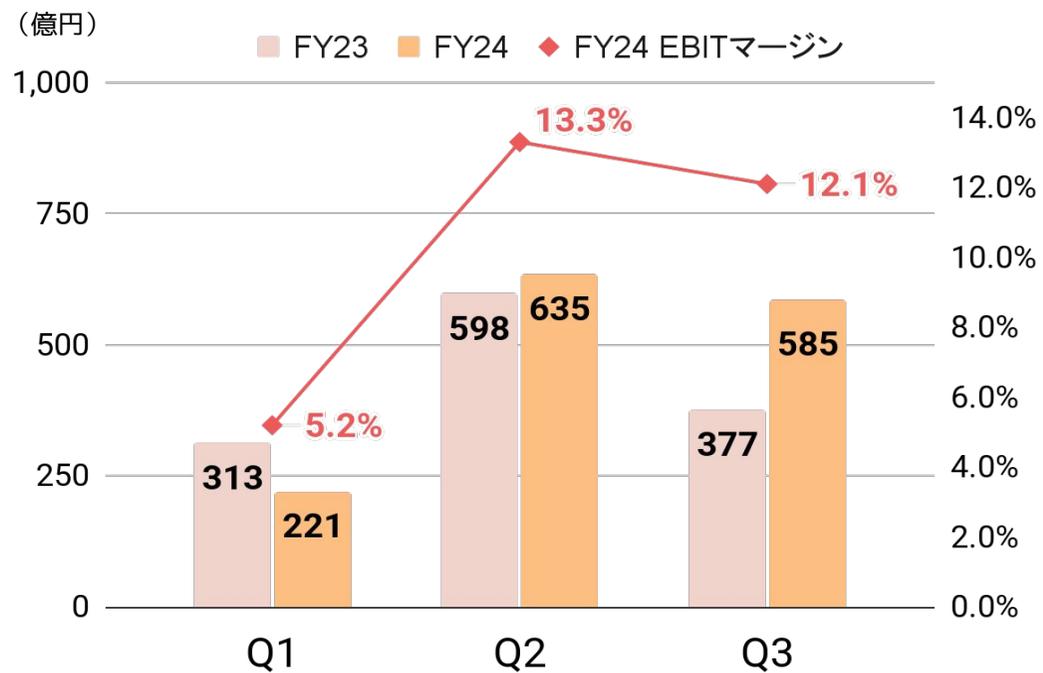


- ✓ 第3四半期単独でも対前年で増収増益、EBITは計画を達成
- ✓ 第3四半期単独の売上収益は再上場後の最高額、EBITも再上場後の最高益を達成
- ✓ 第3四半期単独のEBITマージンは12.1%と高水準を達成

## 売上収益



## EBIT



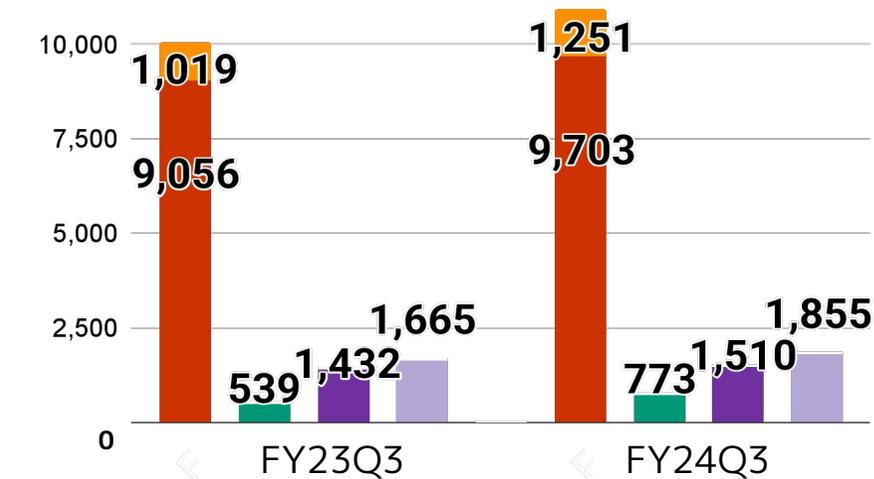
# 2025年3月期 第3四半期 セグメント別実績



- ✓ FSCは、好調な国際旅客・国内旅客の挽回・貨物機の活用で、対前年で売上収益が伸長
- ✓ LCCは、ZIPAIRが引き続き好調、SPRING JAPANも中国需要の回復によりEBITが伸長
- ✓ 事業構造改革の進展により、マイル/金融・コマー스는コマー스事業がけん引して対前年で増益  
 その他は受託事業がけん引して対前年で増益、FSC以外の利益が大きく伸びる

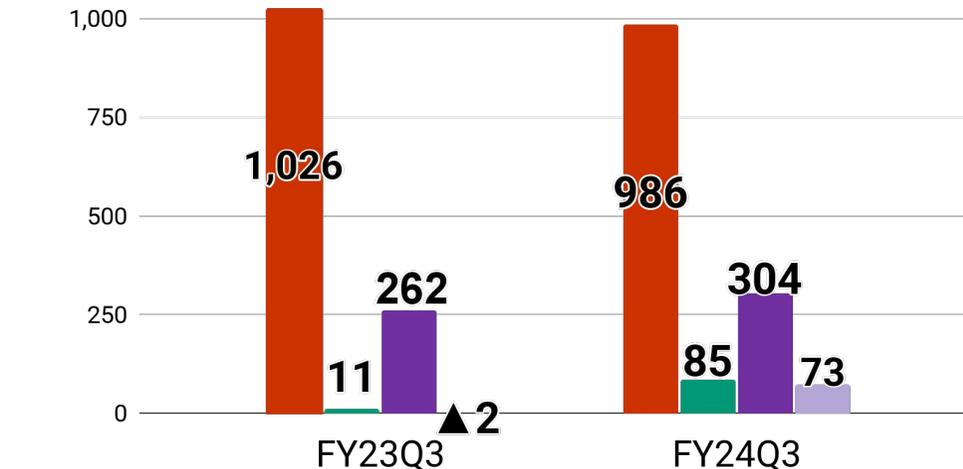
## セグメント別 売上収益

■ FSC(貨物) ■ FSC(旅客) ■ LCC ■ マイル/金融・コマー스  
 ■ その他(旅行・受託等)



## セグメント別 EBIT

■ FSC(フルサービスキャリア) ■ LCC ■ マイル/金融・コマー스  
 ■ その他(旅行・受託等)



(単位：億円) FY24Q3単独		FSC (フルサービスキャリア)		LCC	マイル/金融・コマー스	その他 (旅行・受託等)
売上収益		3,383 (旅客)	454 (貨物)	237	524	651
前年同期差		+298	+103	+52	+36	+95
EBIT		418		8	109	50
前年同期差		+122		+21	+9	+55

注. セグメント別実績における売上収益およびEBITはセグメント間連結消去前数値です。



1. 2025年3月期 第3四半期 業績概要
2. 2025年3月期 第3四半期 業績詳細
3. 参考資料

# 2025年3月期 第3四半期 連結業績詳細

## 科目別連結経営成績



(単位：億円)	累計				単独		
	FY23Q3	FY24Q3	前年同期差	前年同期比	FY24Q3	FY23Q3	
						同期差	同期比
売上収益	12,493	13,859	+1,365	+10.9%	4,841	+556	+13.0%
フルサービスキャリア	10,096	10,919	+822	+8.2%	3,817	+377	+11.0%
国際旅客収入	4,717	5,186	+469	+9.9%	1,781	+208	+13.2%
国内旅客収入	4,224	4,338	+114	+2.7%	1,533	+60	+4.1%
貨物郵便収入	1,019	1,251	+231	+22.8%	454	+103	+29.6%
その他収入	135	142	+7	+5.7%	47	+4	+10.9%
LCC旅客収入	482	654	+171	+35.6%	201	+34	+20.8%
マイル/金融・コマース、 その他（旅行・受託等）等 (1)	1,914	2,285	+370	+19.4%	822	+144	+21.4%
営業費用	11,296	12,537	+1,240	+11.0%	4,294	+364	+9.3%
燃油費	2,662	2,844	+182	+6.8%	920	▲41	▲4.3%
燃油費以外	8,634	9,693	+1,058	+12.3%	3,374	+406	+13.7%
その他収支 (2)	92	121	+28	+30.2%	39	+16	+69.6%
EBIT	1,289	1,442	+152	+11.9%	585	+208	+55.2%
EBITマージン(%)	10.3%	10.4%	+0.1pt	-	12.1%	+3.3pt	-
純利益	858	910	+51	+6.0%	411	+169	+70.1%
RPK(百万人キロ)	53,514	58,417	+4,902	+9.2%	20,272	+2,268	+12.6%
ASK(百万席キロ)	68,865	72,237	+3,372	+4.9%	24,150	+983	+4.2%
EBITDAマージン(%) (3)	19.1%	18.8%	▲0.4pt	-	20.2%	+2.8pt	-

連結業績詳細は、全社連結科目別に表したものであり、報告セグメント別の売上収益ではありません。

(1) マイル/金融・コマース、その他（旅行・受託等）等=マイル提携・コマース・旅行・受託事業収入等 (2) その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支

(3) EBITDAマージン=EBITDA/売上収益 EBITDA=EBIT+減価償却費

# 2025年3月期 第3四半期 連結業績詳細

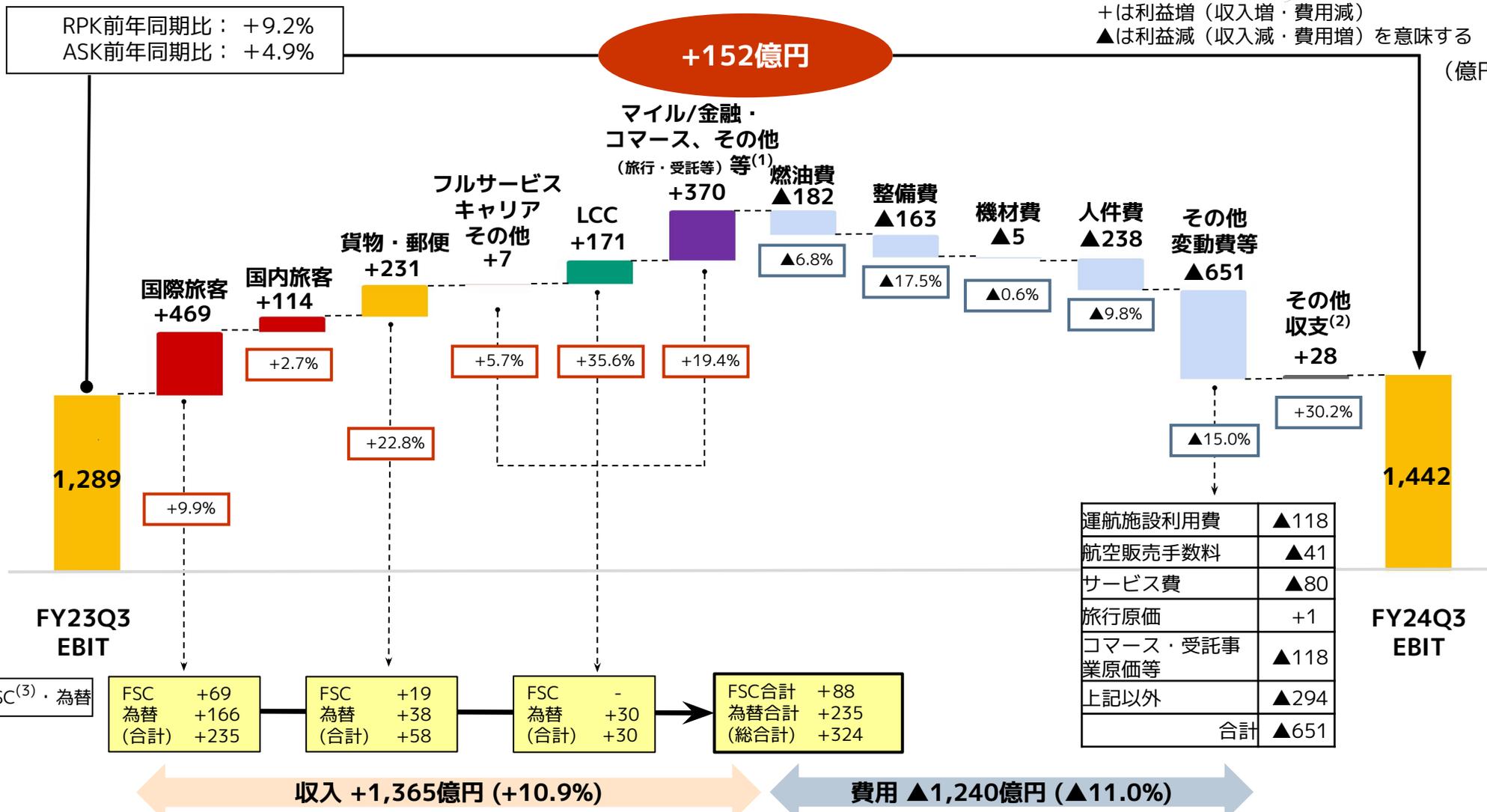
## EBIT増減の科目別推移 (収入/費用)



RPK前年同期比: +9.2%  
ASK前年同期比: +4.9%

+は利益増 (収入増・費用減)  
▲は利益減 (収入減・費用増) を意味する  
(億円)

**+152億円**



(1) マイル/金融・コマース、その他 (旅行・受託等) 等=マイル提携・コマース・旅行・受託事業収入等  
(2) その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支 (3) FSC=Fuel Surcharge

# 2025年3月期 第3四半期 連結業績詳細

## EBIT増減の推移 (市況/その他)



(億円)

+は利益増 (収入増・費用減)  
▲は利益減 (収入減・費用増) を意味する

**+152億円**

**うち為替影響 ▲102億円**  
 収入 +235億円  
 費用 ▲338億円  
 燃油費 ▲187億円  
 燃油費以外 ▲150億円

(市況要素を除く影響額)

増収 +1,041  
 他の費用等 ▲1,083

1,442

1,289

燃油以外  
為替 +84

燃油  
(ヘッジ除き) +36

燃油  
サーチャージ +88

ヘッジ  
損益等 ▲14

FY23Q3  
EBIT

FY24Q3  
EBIT

収入	+235
燃油以外費用	▲150
合計	+84

為替	▲187
燃油市況	+223
合計	+36

国際旅客	+69
国際貨物	+19
合計	+88

国際旅客	+233
国内旅客	+114
貨物郵便	+173
フルサービスキャリアその他	+7
LCC	+147
マイル/金融・コマース、その他 (旅行・受託等)等	+365
合計	+1,041

燃油搭載量等	▲203
整備費	▲92
運航施設利用費	▲108
サービス費	▲66
旅行原価	+1
コマース・受託事業原価等	▲116
機材費	▲3
人件費	▲227
上記以外	▲265
計	▲1,083

市況影響 +195億円

その他 ▲42億円

# 2025年3月期 第3四半期 連結業績詳細

## 国際旅客（フルサービスキャリア）



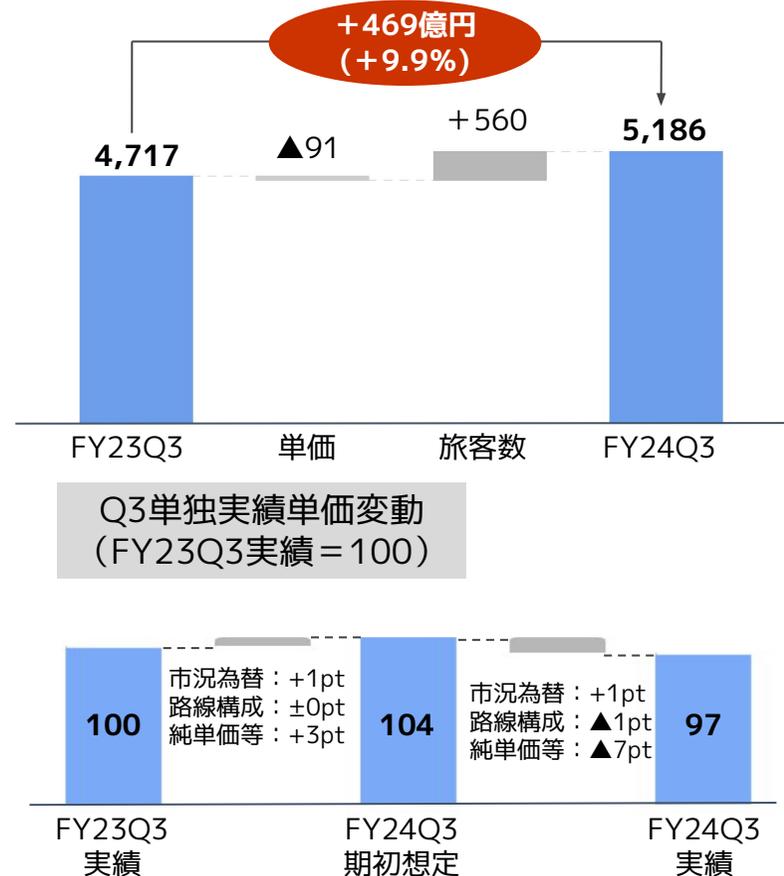
- ✓ 上期に続いて旺盛なインバウンドと緩やかに回復傾向にある日本発業務需要を取り込む
- ✓ 期末に向けて引き続き旺盛な海外発需要を取り込む

### 国際旅客事業の状況

国際旅客事業	累計			単独	
	FY23Q3	FY24Q3	前年同期比	FY24Q3	前年同期比
旅客収入（億円）	4,717	5,186	+9.9%	1,781	+13.2%
有償旅客数（千人）	4,954	5,557	+12.2%	1,936	+16.6%
RPK（百万人キ口）	28,124	30,999	+10.2%	10,716	+15.1%
ASK（百万席キ口）	35,574	37,447	+5.3%	12,717	+7.4%
有償座席利用率（%）	79.1%	82.8%	+3.7pt	84.3%	+5.6pt
単価（円）(1)	95,218	93,334	▲2.0%	92,032	▲2.9%
イールド（円）(2)	16.8	16.7	▲0.2%	16.6	▲1.6%
ユニットレベニュー（円）(3)	13.3	13.9	+4.4%	14.0	+5.4%

- (1) 単価 = 旅客収入 / 有償旅客数  
 (2) イールド = 旅客収入 / RPK  
 (3) ユニットレベニュー = 旅客収入 / ASK

### 国際旅客収入の推移（億円）



# 2025年3月期 第3四半期 連結業績詳細

## 国内旅客（フルサービスキャリア）



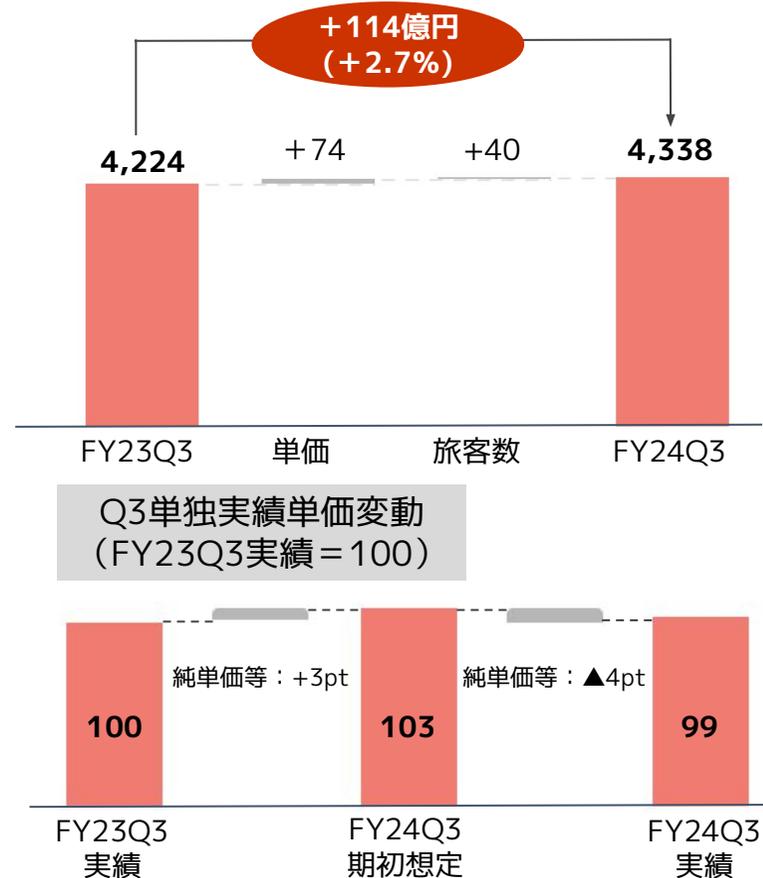
- ✓ 上期に続いて好調な個人旅客需要と低需要便の需要喚起策により団体旅客需要を取り込む
- ✓ 期末に向けて低需要便の需要喚起を継続し、需要の確実な取り込みを目指す

### 国内旅客事業の状況

国内旅客事業	累計			単独	
	FY23Q3	FY24Q3	前年同期比	FY24Q3	前年同期比
旅客収入（億円）	4,224	4,338	+2.7%	1,533	+4.1%
有償旅客数（千人）	26,644	26,897	+0.9%	9,611	+5.4%
RPK（百万人キ口）	20,208	20,552	+1.7%	7,330	+6.1%
ASK（百万席キ口）	26,565	26,497	▲0.3%	8,843	▲0.9%
有償座席利用率（%）	76.1%	77.6%	+1.5pt	82.9%	+5.5pt
単価（円）(1)	15,855	16,130	+1.7%	15,960	▲1.2%
イールド（円）(2)	20.9	21.1	+1.0%	20.9	▲1.9%
ユニットレベニュー（円）(3)	15.9	16.4	+3.0%	17.3	+5.1%

- (1) 単価=旅客収入/有償旅客数  
 (2) イールド=旅客収入/RPK  
 (3) ユニットレベニュー=旅客収入/ASK

### 国内旅客収入の推移（億円）



# 2025年3月期 第3四半期 連結業績詳細 貨物



- ✓ 国際貨物は、貨物機を活用し中国・アジア発北米向け貨物や医薬品等の高付加価値貨物の獲得を強化。欧米向けの単価向上と物量増加に努め増収
- ✓ 国内貨物は、需要が想定より伸び悩むも、新規の需要獲得などに努め増収

国際貨物事業	累計			単独	
	FY23Q3	FY24Q3	前年同期比	FY24Q3	前年同期比
貨物収入（億円）	766	944	+23.3%	339	+30.8 %
有効貨物トンキロ（百万）	3,162	3,952	+25.0%	1,319	+26.4 %
有償貨物トンキロ（百万）	1,901	2,105	+10.7%	723	+14.8 %
貨物輸送重量（千トン）	319	390	+22.1%	135	+26.2 %
重量単価（円/kg）	240	242	+1.0%	251	+3.6 %

国内貨物事業	累計			単独	
	FY23Q3	FY24Q3	前年同期比	FY24Q3	前年同期比
貨物収入（億円）	150	215	+43.5%	80	+53.5 %
有効貨物トンキロ（百万）	1,221	1,273	+4.2%	430	+4.7 %
有償貨物トンキロ（百万）	216	235	+8.5%	87	+14.3 %
貨物輸送重量（千トン）	230	252	+9.5%	95	+15.2 %
重量単価（円/kg）	65	85	+31.0%	85	+33.3 %

# 2025年3月期 第3四半期 連結業績詳細

## LCC



- ✓ ZIPAIRは引き続き好調
- ✓ SPRING JAPANは前年対比で大きく収入を伸ばし、通期で黒字化を見込む

ZIPAIR 	累計			単独	
	FY23Q3	FY24Q3	前年同期比	FY24Q3	前年同期比
旅客収入（億円）	392	517	+31.9%	165	+16.6%
有償旅客数（千人）	830	1,018	+22.7%	338	+17.2%
RPK（百万人キロ）	4,576	5,817	+27.1%	1,895	+19.5%
ASK（百万席キロ）	5,838	6,947	+19.0%	2,125	+2.5%
有償座席利用率（%）	78.4%	83.7%	+5.3pt	89.2%	+12.7pt
単価（円）(1)	47,232	50,764	+7.5%	49,084	▲0.5%
イールド（円）(2)	8.6	8.9	+3.7%	8.8	▲2.5%
ユニットレベニュー（円）(3)	6.7	7.4	+10.8%	7.8	+13.7%

SPRING JAPAN 	累計			単独	
	FY23Q3	FY24Q3	前年同期比	FY24Q3	前年同期比
旅客収入（億円）	90	137	+51.7%	35	+45.8%
有償旅客数（千人）	582	738	+26.8%	200	+4.7%
RPK（百万人キロ）	604	1,048	+73.4%	330	+61.7%
ASK（百万席キロ）	886	1,344	+51.6%	463	+39.2%
有償座席利用率（%）	68.1%	78.0%	+9.8pt	71.2%	+9.9pt
単価（円）(1)	15,583	18,643	+19.6%	17,770	+39.2%
イールド（円）(2)	15.0	13.1	▲12.5%	10.8	▲9.8%
ユニットレベニュー（円）(3)	10.2	10.2	+0.1%	7.7	+4.7%

(1)単価=旅客収入/有償旅客数 (2)イールド=旅客収入/RPK (3)ユニットレベニュー=旅客収入/ASK

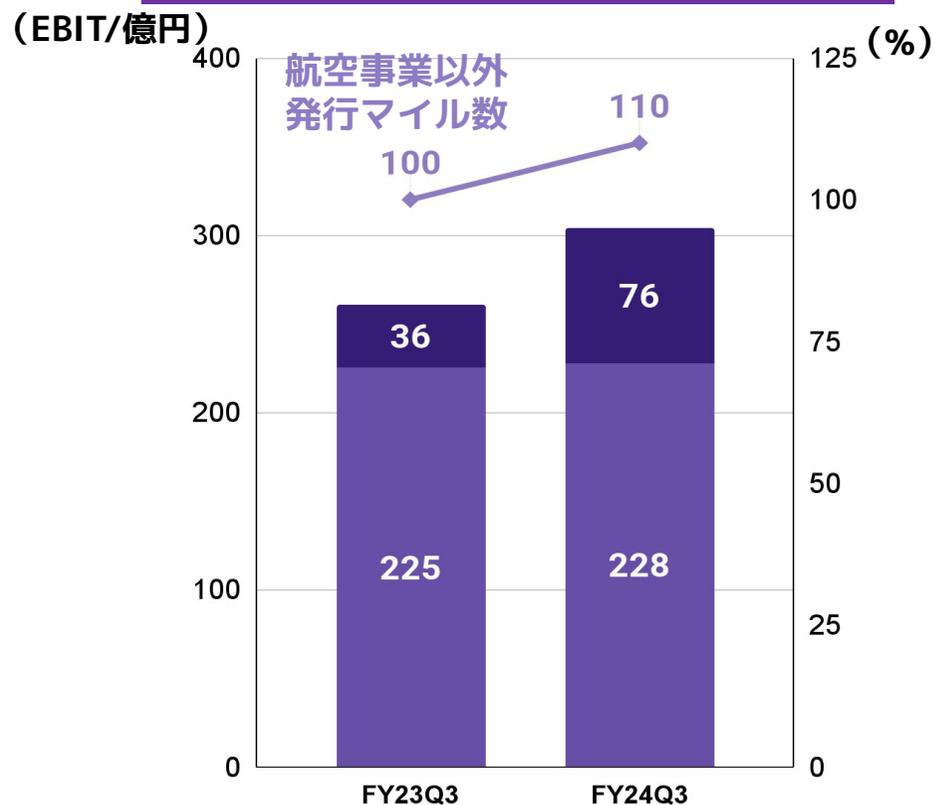
# 2025年3月期 第3四半期 連結業績詳細

## マイル/金融・コマー্স、その他（旅行・受託等）



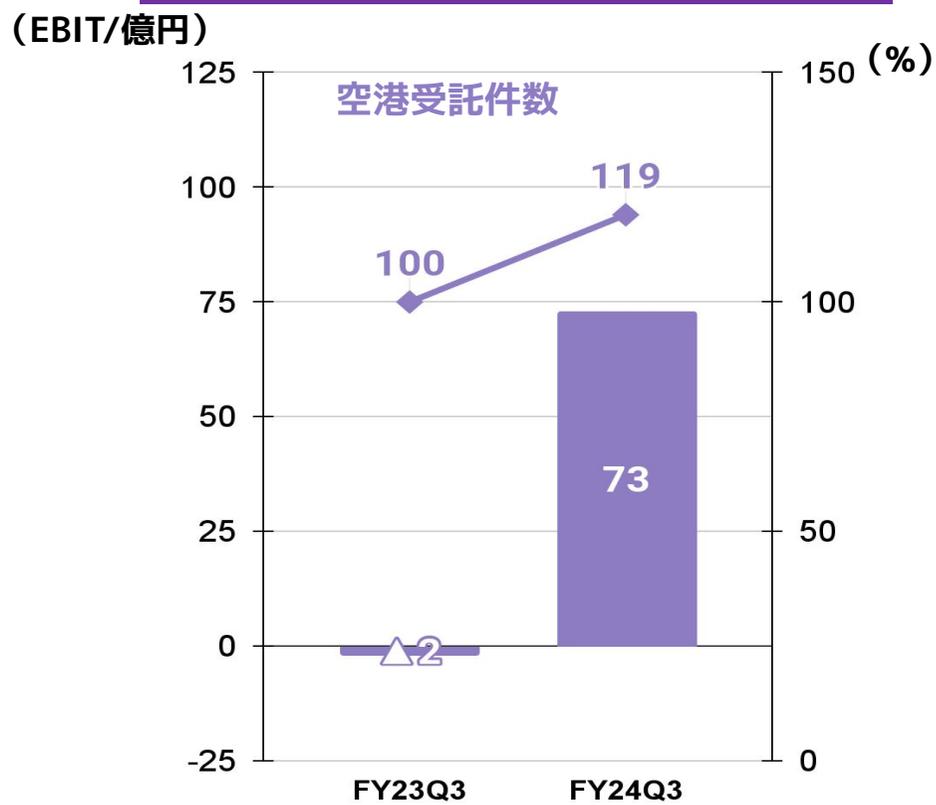
- ✓ マイル/金融・コマー্স事業では、JALUXの増収・マイル発行数の順調な伸張により、対前年増益
- ✓ その他（旅行・受託等）では、グランドハンドリング受託事業が引き続き好調

### マイル/金融・コマー্স事業EBIT およびマイル発行数の増減



◆ 航空事業以外での発行マイル数 (FY23Q3累計=100)  
■ コマー্স 事業利益 ■ マイル/金融 事業利益

### その他（旅行・受託等）EBIT および空港受託件数の増減



■ 利益 ◆ 受託件数 (FY23Q3累計=100)

# 2025年3月期 第3四半期 連結業績詳細 費用詳細



## 主要営業費用項目

(単位：億円)	累計				単独		
	FY23Q3	FY24Q3	前年同期差	前年同期比	FY24Q3	FY23Q3	
						同期差	同期比
燃油費	2,662	2,844	+182	+6.8%	920	▲41	▲4.3%
運航施設利用費	535	653	+118	+22.1%	227	+44	+24.3%
整備費	930	1,094	+163	+17.5%	390	+63	+19.2%
航空販売手数料	184	226	+41	+22.6%	74	+14	+24.1%
サービス費(1)	342	423	+80	+23.5%	148	+27	+22.7%
他変動費(2)	1,600	1,815	+215	+13.4%	642	+83	+14.9%
機材費	910	915	+5	+0.6%	308	+13	+4.6%
人件費	2,437	2,675	+238	+9.8%	923	+64	+7.5%
その他の費用	1,693	1,889	+195	+11.6%	657	+94	+16.9%
営業費用合計	11,296	12,537	+1,240	+11.0%	4,294	+364	+9.3%

## FSC (フルサービスキャリア) ユニットプロフィット

(単位：円)	累計			単独	
	FY23Q3	FY24Q3	前年同期差	FY24Q3	前年同期差
UR (ユニットレベニュー) (3)	14.4	14.9	+0.5	15.4	+0.7
UC (ユニットコスト) (4)	12.9	13.6	+0.7	13.6	+0.2
UP (ユニットプロフィット) (5)	1.5	1.3	▲0.2	1.8	+0.5

(1) サービス費=機内・ラウンジ・貨物などのサービスに関わる費用 (2) 他変動費=旅行・マイル提携・コマース・受託事業原価 など

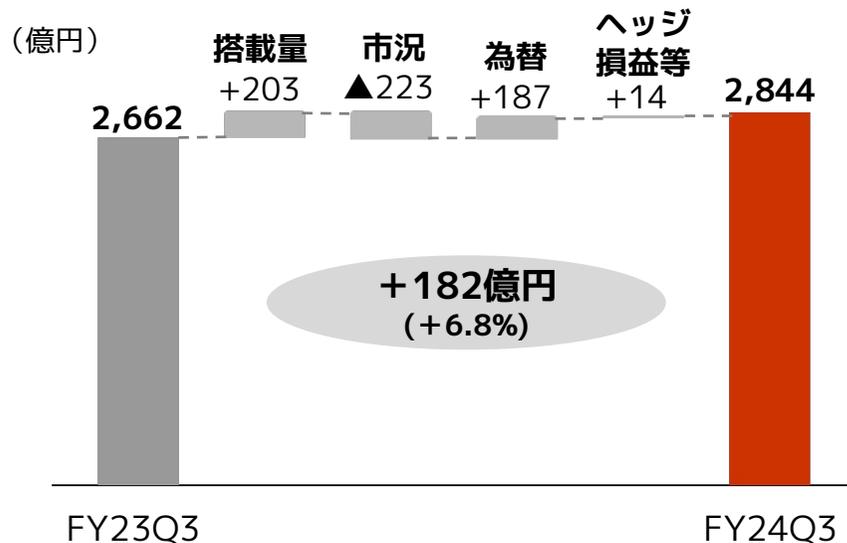
(3) ユニットレベニュー= 旅客収入 ÷ ASK (4) ユニットコスト= (営業費用-旅客収入以外の収入) ÷ ASK (5) ユニットプロフィット=(ユニットレベニュー) - (ユニットコスト)

# 2025年3月期 第3四半期 連結業績詳細

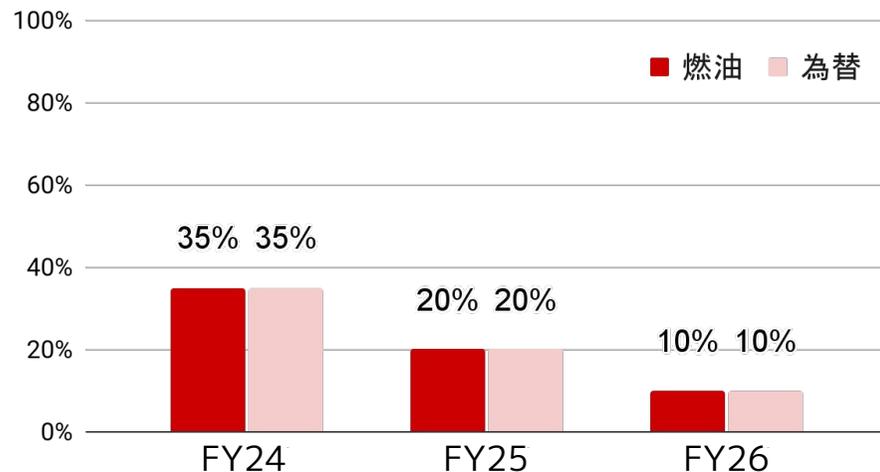
## 燃油費



### 燃油費増減の推移

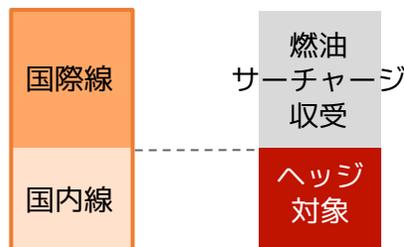


### 燃油費に対する年度別ヘッジ概況 (2024年12月末時点)



### 燃油ヘッジ

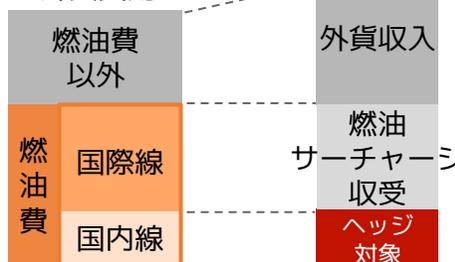
燃油使用量



- 国内線使用量を対象にヘッジを実施、燃油市況変動に対応
- 国際線使用量は燃油サーチャージ収受にて対応

### 為替ヘッジ

外貨費用



- 国内線使用量の燃油費を対象にヘッジ実施、燃油費における為替市況変動に対応
- 足許では海外発需要の高まりにより、外貨収入が燃油費を除く外貨費用を上回る

# 2025年3月期 第3四半期 連結業績詳細

## 財務状況・キャッシュフロー状況



**BS** ✓ 格付評価上の自己資本比率40.7%、ネットD/Eレシオ0倍と健全な水準を維持

**CF** ✓ 航空機投資が拡大する中でフリーキャッシュフローは黒字を維持

連結財政状態計算書	FY23期末	FY24Q3末	前期末差
総資産	26,492	27,607	+1,114
現金及び現金同等物	7,138	6,963	▲175
有利子負債	8,872	8,986	+113
1年内返済	1,069	979	▲89
自己資本(1)	9,099	9,483	+384
自己資本比率 (%) (2)(5)	34.3% (41.0%)	34.4% (40.7%)	+0.0pt (▲0.3pt)
D/Eレシオ (倍) (3)	1.0x	0.9x	▲0.0x
ネットD/Eレシオ (倍) (4)(5)	0.2x (▲0.0x)	0.2x (0.0x)	+0.0x (+0.0x)

(億円)

連結キャッシュフロー計算書	FY23Q3	FY24Q3	前年同期差
営業キャッシュフロー	2,732	2,516	▲216
減価償却費	1,100	1,159	+59
投資キャッシュフロー	▲1,557	▲2,221	▲664
投資・出資額	▲1,603	▲2,357	▲753
フリーキャッシュフロー (6)	1,175	294	▲881
財務キャッシュフロー	▲799	▲502	+296
キャッシュフロー合計 (7)	376	▲208	▲584
EBITDA (8)	2,390	2,602	+211

- (1) 自己資本=親会社の所有者に帰属する持分
- (2) 自己資本比率=親会社所有者帰属持分比率
- (3) D/Eレシオ=有利子負債/自己資本
- (4) ネットD/Eレシオ=(有利子負債-現金および現金同等物)/自己資本
- (5) ()内の数字は、ハイブリッド・ファイナンスを加味した格付評価上の数値
- (6) フリーキャッシュフロー=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー
- (7) キャッシュフロー合計=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー+財務キャッシュフロー
- (8) EBITDA=EBIT+減価償却費



1. 2025年3月期 第3四半期 業績概要
2. 2025年3月期 第3四半期 業績詳細
3. **参考資料**

# 参考資料

## 国際線大路別実績（フルサービスキャリア）



旅客収入				
(単位:%)	累計		単独	
	FY24 Q3 構成比	FY23Q3比	FY24Q3 構成比	FY23Q3比
米大陸線	38%	+18.9%	37%	+23.1%
欧州線	18%	+13.4%	17%	+11.7%
アジア・オセアニア線	30%	+3.1%	33%	+7.0%
中国線	6%	▲6.3%	5%	+9.6%
ハワイ・グアム線	8%	+4.6%	8%	+5.2%
全路線	100%	+10.0%	100%	+13.2%

ASK				
(単位: 百万席キロ)	累計		単独	
	FY24Q3	FY23Q3比	FY24Q3	FY23Q3比
米大陸線	13,744	+2.4%	4,600	+2.7%
欧州線	6,061	+16.3%	1,984	+14.6%
アジア・オセアニア線	12,184	+1.5%	4,234	+8.8%
中国線	1,813	+8.7%	656	+19.7%
ハワイ・グアム線	3,642	+11.4%	1,241	+4.8%
全路線	37,447	+5.3%	12,717	+7.4%

RPK				
(単位: 百万人キロ)	累計		単独	
	FY24Q3	FY23Q3比	FY24Q3	FY23Q3比
米大陸線	11,634	+9.2%	3,842	+17.9%
欧州線	5,079	+21.8%	1,677	+21.0%
アジア・オセアニア線	10,038	+4.1%	3,744	+10.8%
中国線	1,327	+32.9%	433	+38.3%
ハワイ・グアム線	2,918	+9.7%	1,018	+5.2%
全路線	30,999	+10.2%	10,716	+15.1%

有償旅客数				
(単位:千人)	累計		単独	
	FY24Q3	FY23Q3比	FY24Q3	FY23Q3比
米大陸線	1,242	+8.6%	410	+17.6%
欧州線	552	+24.1%	182	+23.7%
アジア・オセアニア線	2,569	+6.6%	939	+11.9%
中国線	692	+35.2%	227	+41.6%
ハワイ・グアム線	500	+12.9%	175	+7.7%
全路線	5,557	+12.2%	1,936	+16.6%

有償座席利用率				
(単位:%)	累計		単独	
	FY24Q3	FY23Q3	FY24Q3	FY23Q3
米大陸線	84.6%	79.4%	83.5%	72.8%
欧州線	83.8%	80.0%	84.5%	80.1%
アジア・オセアニア線	82.4%	80.3%	88.4%	86.8%
中国線	73.2%	59.9%	66.0%	57.2%
ハワイ・グアム線	80.1%	81.3%	82.0%	81.7%
全路線	82.8%	79.1%	84.3%	78.6%

# 参考資料

## 航空機一覧



			前期末 2024/3/31			当期末 2024/12/31			増減
			所有	リース	合計	所有	リース	合計	
フルサービスキャリア	大型機	Airbus A350-1000	3	0	3	7	0	7	+4
		Airbus A350-900	11	4	15	11	4	15	0
		Boeing 777-300ER	13	0	13	12	0	12	▲1
		大型機 小計	27	4	31	30	4	34	+3
	中型機	Boeing 787-9	19	3	22	19	3	22	0
		Boeing 787-8	23	0	23	23	0	23	0
		Boeing 767-300ER	16	9	25	16	9	25	0
		中型機 小計	58	12	70	58	12	70	0
	小型機	Boeing 737-800	47	9	56	47	9	56	0
		小型機 小計	47	9	56	47	9	56	0
	リージョナル機	Embraer 170 / Embraer 190	32	0	32	32	0	32	0
		De Havilland DHC-8-400CC	5	0	5	5	0	5	0
		ATR42-600 / ATR72-600	14	1	15	14	1	15	0
		リージョナル機 小計	51	1	52	51	1	52	0
	貨物機	Airbus A321-200	0	2	2	0	3	3	+1
Boeing 767-300ER		0	2	2	0	2	2	0	
貨物機 小計		0	4	4	0	5	5	+1	
<b>フルサービスキャリア 合計</b>			183	30	213	186	31	217	+4
LCC	Boeing 787-8	8	0	8	8	0	8	0	
	Boeing 737-800	0	6	6	0	6	6	0	
	<b>LCC合計</b>	8	6	14	8	6	14	0	
<b>総計</b>			191	36	227	194	37	231	+4

# 参考資料

## 燃油・為替の市況変動によるQ4以降の利益影響 (ヘッジ、燃油サーチャージ等込み)



(億円)	燃油市況 (USD/bbl)	ドバイ 原油	60ドル	70ドル	80ドル	90ドル
		シンガポール・ ケロシン	80ドル	90ドル	100ドル	110ドル
為替 (円/USD)	140円		+110	+80	+50	+20
	145円		+95	+65	+35	予想前提 ±0
	150円		+90	+55	+20	▲15
	155円		+75	+40	+10	▲30
	160円		+70	+30	±0	▲40

※本表は、燃油市況（シンガポール・ケロシン）及び為替の変動により、燃油サーチャージ収入及び燃油費が増減することで、当社の今年度1～3月の間の利益がどのように変動するかを示しております。  
なお、2025年3月までの燃油サーチャージテーブルは確定しており、これを反映済みです。

明日の空へ、日本の翼



**JAPAN AIRLINES**

当資料に関するお問い合わせ先

日本航空株式会社

財務・経理本部 財務部

本資料には、日本航空株式会社（以下「当社」といいます）及びそのグループ会社（以下当社とあわせて「当社グループ」といいます）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が当該資料作成時点（又はそこに別途明記された時点）において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記述のためには、一定の前提・仮定を使用しています。これらの記述又は前提・仮定は当社経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものであり、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明し、あるいは将来において実現しないことがあります。したがって、当社グループの実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、日本その他の国・地域における経済社会状況、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている将来情報に関する記述は、上記のとおり当該資料の作成時点（又はそこに別途明記された時点）のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

本資料への当社グループに関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。

従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は日本航空株式会社に属します。